

【高等学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度(評価)
 A:十分達成できている
 B:おおむね達成できている
 C:やや不十分である
 D:不十分である

学校名	佐賀県立太良高等学校
1 前年度 評価結果の概要	新高等学校学習指導要領の施行を踏まえ、魅力ある教育課程の編成に取り組んだ。次年度以降は、日々の授業改善の更なる創意工夫に取り組んでいく。 普通科高等学校での特別支援教育に対するニーズの高まりを踏まえ、生徒理解・特性理解を推し進め、教職員全体の専門性の向上に取り組んでいく。 広報活動、体験入学、授業研究週間の質的向上に努め、幅広く学校公開を行いながら地域社会に信頼される学校づくりを進めていく。 学校行事等の精選に努めながら働き方改革を進め、効果的な教育活動の実践及び継続を推進していく。

2 学校教育目標	校訓「自律」の精神を培い、知・徳・体のバランスを高め、社会に貢献できる心身ともに健全な清々しい人間を育成する。
----------	---

3 本年度の重点目標	新学習指導要領の理念に対応した、主体的・対話的で深い学びの実現のため、授業改善を進め生徒の基礎学力向上を図る。 特色ある授業や特別活動の実施、部活動の奨励により、生徒の「志」を高め、活力ある学校作りを推進する。 3年間を見通したキャリア教育によって夢や目標への「志」を高めさせ、進路実現を支援する。 豊かな心を育み心身の健康を増進させるための支援体制の充実を図る。 地域、中学校との連携を深め、広く共感と信頼を得られる学校を目指す。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒個々人の能力や特性に応じたきめ細やかな指導の充実	○授業研究週間の年間2回以上の実施	・少人数指導、習熟度別指導、チームティーチング、リメディアル教育を通じた授業改善の推進							
	○多様な評価方法に対応できる指導方法の研究実践	○多様な学び(UDL)の研究に取り組んだと回答した教員100%	・「主体的、対話的で深い学び」の実現のための教材開発・授業実践の推進 ・「できる授業」の推進と、相互研修のための授業研究会の年間2回以上の実施							
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳教育推進教師を中心とする道徳教育推進のための職員研修会1回以上実施 ○Q-Uやクレベリン検査を用いた生徒面談1回以上実施	・人権尊重のための講演会の実施 ・「情報」やLHRを活用した情報セキュリティ、情報モラル教育の実施 ・客観的な検査指標を利用した生徒理解の推進							
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○佐賀県いじめ防止基本方針の理解及び組織的な対応の実践が「よくできている」と回答した教職員90%以上	・学校生活アンケートの年3回の実施 ・いじめ防止に関する保護者への啓蒙活動の充実 ・いじめ防止に関する職員研修会の実施							
	◎「志」を高める教育の推進	◎「体験学習」「郷土学習」を通して、「佐賀に愛着を持たせ」と回答した生徒80%以上 ◎部活動により、自己肯定感が高まったと回答した生徒80%以上	・佐賀に対する愛着心を育むための「佐賀語り」の活用や佐賀に関わる講演会の実施 ・部活動への週1回以上の参加							
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○朝食摂取率80%以上、十分な睡眠時間の確保75%以上	・毎朝の健康調査を通じた、自己の体調管理の把握 ・朝食アンケートや外部講師を招いての健康教育を通じた食育の充実							
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%以上								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定(毎週月曜・金曜) ・学校閉庁日の設定(8月12日~14日) ・部活動休養日の設定 ・時間外自発勤務1カ月40時間以内 ・年次休暇10日以上取得							

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価				主な担当者
評価項目	重点取組内容		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○通級指導の実践	○自立活動の理解と実践 ○計画的な情報発信の実践	○自立活動の基礎知識に関する周知率90%以上 ○自立活動選択者の授業満足度90%以上	・月1回以上の通級指導委員会を通じた生徒に関する情報の共有 ・自立活動に関する教職員研修会の2回以上の実施 ・月1回以上の生徒支援委員会を通じた生徒理解・特性理解や支援の推進							
○広報活動の充実	○魅力的な情報発信の継続 ○中学校、保護者、地域社会から信頼を得るための取組の推進	○学校通信「HOT通信」の月2回以上の発行 ○学校説明会、体験入学、オープンキャンパス参加者の前年度比10%増	・掲載内容の精選・充実を通じた魅力ある学校通信の製作と発行 ・学校設定科目を中心とした特色ある体験授業の実施							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------